

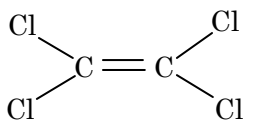
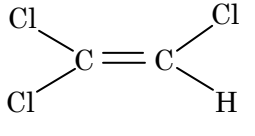
『環境微生物学 —環境バイオテクノロジー—』 正誤表

下記の通り間違いがありました。訂正してお詫び申し上げます。

初版 5 刷

2006-03-10

頁	誤	正
p.22 図 2.5 (2 箇所)	無機能窒素	無機態窒素
p.23 ↑ 3~1 行目	マメ科植物に共生する根粒菌の場合には、レグヘモグロビンという酸素を運搬するタンパク質を有しており、これが植物から根粒菌へ酸素を運ぶと同時に、細菌内の酸素濃度を下げる役割も持っている。	窒素固定酵素は酸素に弱い根粒菌の生育には酸素が必要である。そのため根粒では植物と根粒菌によりレグヘモグロビンという酸素を吸着するタンパク質が合成され、根粒内の酸素濃度を調節している。
p.26 5 行目	ニトロコッカス (<i>Nitrococcus</i>) 属細菌	ニトロソコッカス (<i>Nitrosococcus</i>) 属細菌
p.27 表 2.3 の最上段	<i>Nitrosomonas</i> 亜硝酸菌 <i>Nitrococcus</i>	<i>Nitrosomonas</i> 亜硝酸菌 <i>Nitrosococcus</i>
p.35 8 行目	ロ還元化合物も	ロ環化合物も
p.40 ↑ 8 行目	アルガリゲネス (<i>Alcaligenes</i>), ズーグレア (<i>Zooglea</i>) など	アルカリゲネス (<i>Alcaligenes</i>), ズーグロエア (<i>Zoogloea</i>) など
p.43 図 3.2	細菌 S1 (<i>Brevibaacterium</i>) 細菌 S2 (<i>Curtobaacterium</i>)	細菌 S1 (<i>Brevibacterium</i>) 細菌 S2 (<i>Curtobacterium</i>)
p.45 5 行目	フェノキシ酢酸と	フェノキシ酢酸と
p.53 ↑ 10 行目	一時処理 (スクリーン,	一次処理 (スクリーン,
p.55 8 行目	密圧もせず,	圧密もせず,

頁	誤	正
p.63 図 5.1 の 3 段目	パイレン	ピレン
p.63 図 5.1 の最下段	ベンゾ [a] パイレン	ベンゾ [a] ピレン
p.70 1 行目	培養系ではでは,	培養系では,
p.74 ↑ 1 行目	一種類以上の	二種類以上の
p.78 図 5.6 の最下段	1,2,5,6-ベンゾアントレセン	1,2,5,6-ベンゾアントラセン
p.82 2 行目	栄養物や酵素を地下水に	栄養物や酸素を地下水に
p.84 ↑ 1 行目	化合物につて	化合物について
p.87 図 6.4	 <p>トリクロロエチレン</p>	 <p>トリクロロエチレン</p>
p.89 図 6.7 (図中)	アルキルベンゼンスルホル酸	アルキルベンゼンスルホン酸
p.89 図 6.7 キャプション	アルキルベンゼンスルホン酸アルキル酸の	アルキルベンゼンスルホン酸の
p.100 図 7.3	<p>亜硝酸菌</p> <p><i>Nitrosomonas</i></p> <p><i>Nitrococcus</i></p>	<p>亜硝酸菌</p> <p><i>Nitrosomonas</i></p> <p><i>Nitrosococcus</i></p>
p.168 表 12.1	緑濃菌	緑膿菌
p.168 4 行目	上の分子量を有する (ちなみに	上 (ちなみに
p.170 脚注	遺伝子の発見も阻害	遺伝子の発現も阻害
p.177 ↑ 3~2 行目	溶源サイクルと溶菌サイクルの 2 つの生活環がある。溶源サイクルにおいて,	溶原サイクルと溶菌サイクルの 2 つの生活環がある。溶原サイクルにおいて,

(いずれも初版 6 刷では修正済みです)